

## スツール型小物入れ

ボックスと同じ大きさのコルクとキルト綿を布でしっかりと包むことで、ふんわりとした座面のようなふたができます。



### 【Seriaグッズ】

- インテリア木製ウォールボックス スクエア … 1個
- コルク長方形 … 1枚
- 四万十川檜工作用角材 45×3.5×1.0cm … 1本
- パッチワークキルト綿 40cm×50cm … 1枚
- 蝶番22mm6P 古色仕上げ … 1袋
- 半円型ノブ 古色仕上げ … 1個

### 【用意するもの】

お好みの布・えんぴつ・チャコペン・じょうぎ・洗濯ばさみ(大きめ)・きり・紙やすり・のこぎり・刷毛・紙コップ・インスタントコーヒー・クラフト用ボンド・プラスドライバー

### 【できあがりサイズ】

縦:約14.5cm 横:約14.5cm 高さ:約13cm

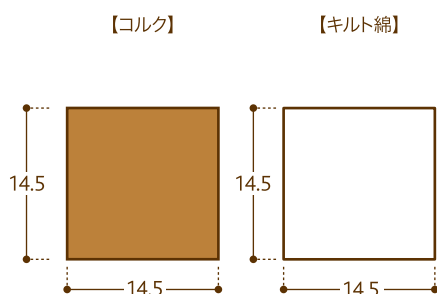
## 1 ふたを作ります。

① 材料を準備します。えんぴつやチャコペンで線を引いてから、カッターやはさみを使って、ていねいにカットします。

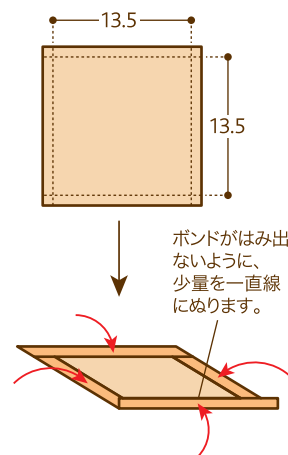
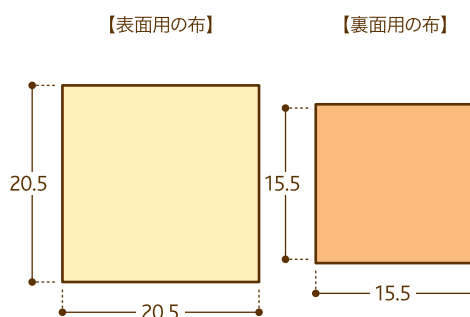
①コルクとキルト綿をボックスと同じサイズにカットします。

②お好みの布を準備し、表面用の布、裏面用の布を下図のサイズにカットします。

③裏面用の布を裏返し、端から1cmの所に折り目をつけて、ボンドで留めます。



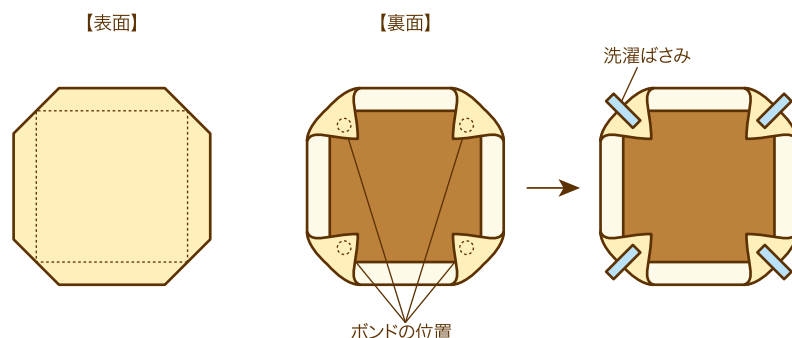
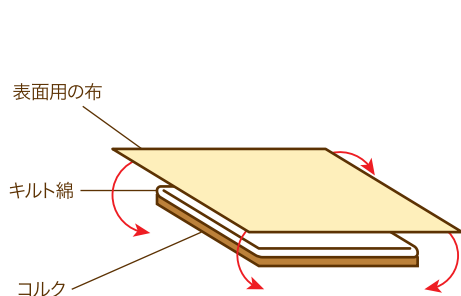
単位:cm



## 2 コルクに布を巻きます。

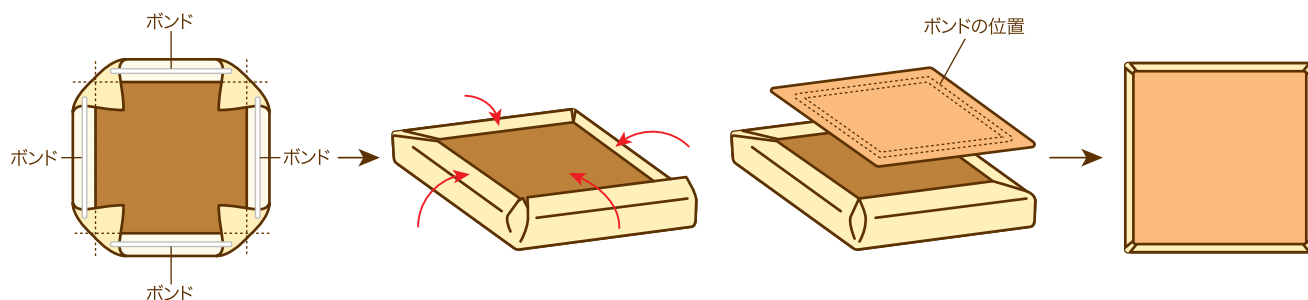
①コルクにキルト綿を重ね、さらに表面用の布を重ねます。

②表面用の布の角をコルクの内側に向けて折り込み、ボンドで留めます。ボンドで留めた部分を大きめの洗濯ばさみなどで挟み固定して、しっかり乾燥させます。



③角につけたボン드가乾いたら、それ以外の部分を内側に  
向けて折り込み、ボン드로留めます。  
しっかり乾かします。

④裏面用の布を、ボン드로貼り付けます。

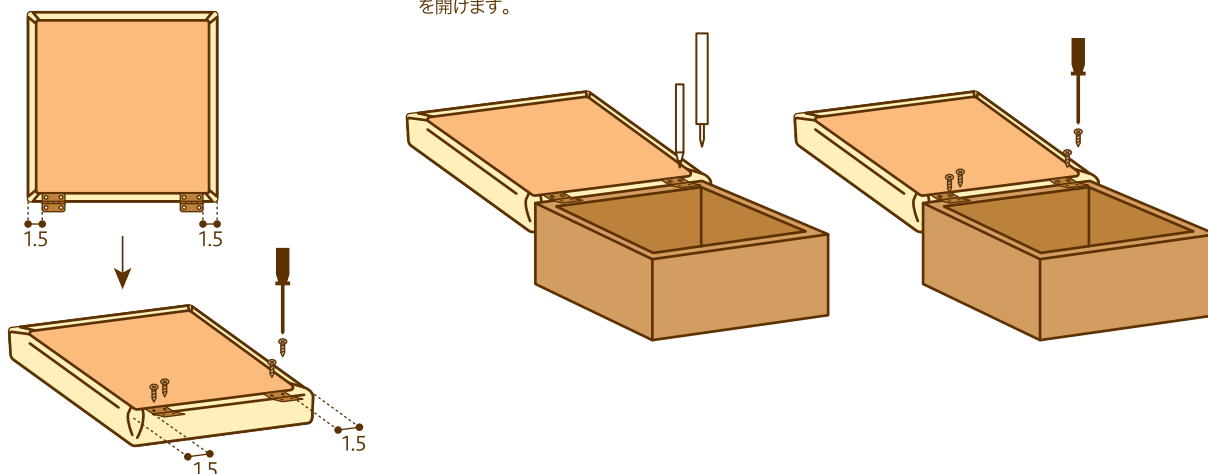


## 2 ボックスにふたを取り付けます。

① ふたの端から1.5cmの位置に蝶番を付けます。  
位置を決めたらきりで少しだけ穴を開け、その穴に  
合わせてプラスドライバーでネジを打ち込みます。

② ボックスにふたを合わせて、蝶番のネジを  
取り付ける位置を決めます。  
位置が決まったら蝶番のネジ穴にえんぴつ  
で印を付け、きりで約0.5cmの深さの下穴  
を開けます。

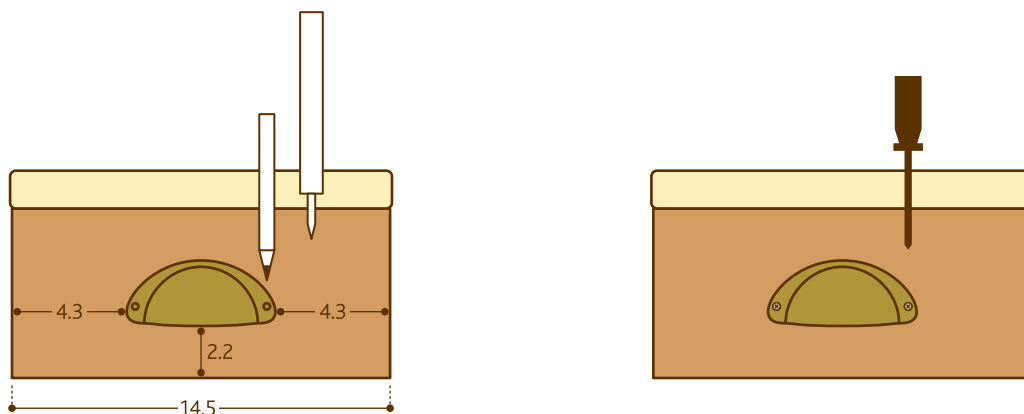
③ ネジをプラスドライバーで取り付け、固定します。



## 3 半円型ノブを取り付けます。

① 図の位置に金具を取り付けます。  
位置が決まったら蝶番のネジ穴にえんぴつで印を付け、きりで  
約0.5cmの深さの下穴を開けます。

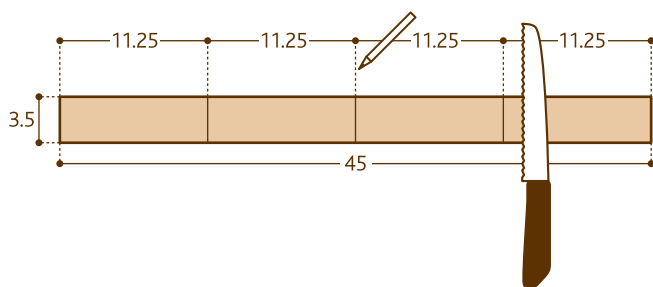
② ネジをプラスドライバーで取り付け、固定します。



## 4 脚を取り付けます。

### ① 木材をカットします。

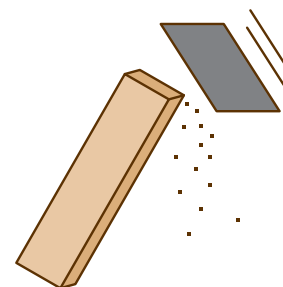
①長さ約11.25cm(木材全体の4等分)になるようにじょうぎで測り、えんぴつで線を描きます。  
周囲の安全を確かめ、慎重にのこぎりでカットします。



## Point

### 刃物を扱う際の注意

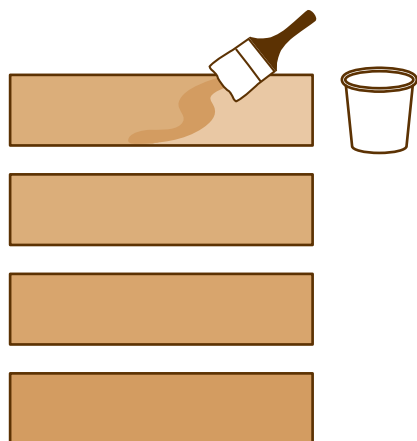
のこぎりで切る前に、じょうぎを当て、カッターで少し切れ目を入れておくと、のこぎりの刃を入れやすくなります。けがをしないように気を付けて、平らな場所でしっかりと板を押さえながら、少しずつ切ります。



②カットした木材の断面を紙やすりで整えます。  
できるだけ同じ長さになるように調整します。

### ② 木材をコーヒー染めます。

インスタントコーヒー大さじ2を同量のお湯で溶かしたものを、刷毛で木材にぬって乾かします。  
ボックスの木の色に近くなるまで(約3~4回程度)繰り返します。



## Point

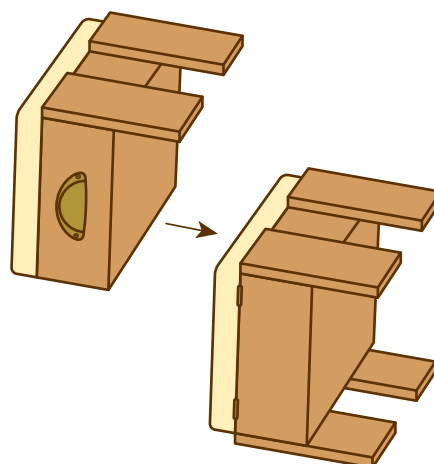
### コーヒー液の濃さ

コーヒー液を作り、ぬって一度乾かしたあと、色が薄いと感じた場合は、さらにインスタントコーヒーを足し、濃さを調節しましょう。

よく乾く前に重ねぬりをすると、色にじんだり、ムラになることがあるので、風通しのよい場所で乾燥具合を確かめながら行いましょう。

### ③ 木材がしっかり乾いたら、ボックスの側面にクラフト用ボンドで接着します。

片面2本ずつ取り付け、乾いたらもう片面に取り付けます。



### ④ ボックスを立てて、ぐらつく場合は、木材の底をやすりで削るか、厚紙などを底に貼って調整します。

